

集落・暮らしのサポーター

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続ける地域をつくるために

2月1日、役場町長室で、集落・暮らしのサポーター（地域づくり事業推進員）の任命式が行われました。

この日任命されたのは、中菅自治会の金田千恵子さんと、小原・別所自治会の加藤賢一さん。今後、各自治会で百歳体操の実施など、地域づくりや暮らしの支援を行っていきます。

【担当地区】中菅自治会
金田千恵子さん（中菅）

【担当地区】小原・別所自治会
加藤賢一さん（別所）



▲任命証書を手にする加藤さん（左）と金田さん（右）

サポーター第1号・第2号に
集落・暮らしのサポーター任命式

集落・暮らしのサポーター（地域づくり事業推進員）とは、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続ける地域をつくるために、いきいき百歳体操の実施やお茶のみサロンなどの集いの場づくりなど、集落の暮らしのサポートをする人のことです。

自治会長とサポーターが連携し取り組みを行うことで、暮らしの安心づくり、集落を守っていき、未来につなげる活動につなげていくことができます。



サポーターの取り組み

- いきいき百歳体操の実施など、高齢者福祉に関する支援
- お茶のみサロンなど、地域住民の集いの場づくり
- 安心して暮らせるよう、見守り、話し相手、食事など暮らしの支援
- 花づくりなど、集落を彩り美しくいく等の景観整備
- ひとのつながり、助け合いを通じて、ひとづくりから未来につないでいく

集落・暮らしのサポーター（地域づくり事業推進員）

【配置】自治会に1人配置

【活動時間】月35時間以内

【任期】3年

【謝金】1時間あたり930円

申込みおよび問合せ先

役場企画政策課（電話 72-0332）





パンで高齢者を元気に 日野高校生に町から感謝状

感謝状を贈呈された日野高校生の3人

1月19日、さまざまな活動を通して、地域を元気にしてくれた日野高校の生徒に、町から感謝状が贈られました。今回、感謝状が贈られたのは、日野高校3年の稲田美月さん、増浦僚汰さん、山田めぐみさんの3人。3人は高校の課題研究で、「3町3色パン」を開発。日野郡3町の特産品（えごま、ブルーベリー、にんじん）を使用し、高齢者が食べやすく栄養価も高い商品です。パンの販売を通じて、地域の高齢者の健康増進やフレイル予防について説明し、地域と交流を深めたことがたたえられました。



鉄道を活用した町おこしを 小学生議会で黒坂小児童が一般質問

緊張しつつもきはきと質問

1月19日、日野町議会議場で小学生議会が開かれ、黒坂小学校の6年生5人が議員となり、町執行部に一般質問を行いました。町に対して自分たちの考えを知ってほしいと、児童たち自らが企画。町議員らが見守る中、鉄道を活用した町おこしなどについて、塚田町長ら執行部にアイデアを提案しました。頭本帆花さんは、鉄道の撮影スポットの新設を提案。伊田蒼介さんは、撮り鉄のマナー向上を呼び掛ける看板の設置を提案するなど、それぞれが考えた案を堂々と発表していました。

【米子税務署からのお知らせ】

令和4年分確定申告にかかる申告および納付期限ならびに納付方法についてのお知らせ

申告期限および納付期限	申告所得税および復興特別所得税 令和5年3月15日(水)まで	個人事業者の消費税および地方消費税 令和5年3月31日(金)まで
-------------	-----------------------------------	-------------------------------------

令和4年分の確定申告は、簡単便利な「振替納税」をご利用ください。

【振替納税によるメリット】

- ①一度手続きすれば、以降毎年振替納税が利用できます。
- ②納付のため金融機関等の窓口に出向く必要がなくなります。
- ③申告から納付までに時間的な余裕があります。

令和4年分の振替納付日

振替納付日	申告所得税および復興特別所得税 令和5年4月24日(月)	個人事業者の消費税および地方消費税 令和5年4月27日(木)
-------	---------------------------------	-----------------------------------

令和4年分の確定申告から振替納税を新規に利用する人は、令和5年3月15日(水)までに、振替依頼書の提出が必要となります。このほか、ダイレクト納付や電子納税、アプリ納付などのキャッシュレス納付のご利用も可能です。

【問合せ先】米子税務署（電話 0859-32-4121）



よいしょ、よいしょ、大きな掛け声 ひのっこ保育所でもちつき

重たいきねを持ってぺったんぺったん

1月13日、ひのっこ保育所で、もちつきが行われました。「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて、ペツタンペツタンともちをつく音が響き渡った遊戯室。れ、がんばれー！」という声援も。重たいきねとうすを使って、園児たちは元気いっぱいにもち米をつきあげていました。つきあがったもちちは、園児たちの手で丁寧に丸められ、昼食にお雑煮として振舞われました。